

## 令和5年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和6年4月24日

団体所在地 広島市安佐南区祇園 8-4-2-12  
団体の名称 認定こども園くすの木祇園  
職・氏名 園長 堀江 宗巨

### 1 活動報告

#### 【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・春の植物の採集
- ・豆のさやむき
- ・ジュンベリーのカム作り
- ・夏野菜の苗植え、種まき
- ・かたつむりの飼育
- ・さつまいもの苗植え
- ・武田山登山口での山遊び

#### 【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・カブトムシやメダカの飼育
- ・野菜の栽培、収穫、クッキング
- ・マリーナホップのアマゾン展にお出かけ
- ・水遊び
- ・動物園へお出かけ

#### 【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・園舎近くの武田山登山、入り口付近探索
- ・草滑り体験（東原園舎の子どもたちと交流）
- ・さつまいもの収穫
- ・子どもたちによる、動物園づくり
- ・どんぐりや松ぼっくりなどの木の実を収集、制作やお部屋の飾りに

#### 【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・園舎近くの武田山登山
- ・来年度年長へ進級する子どもたちによる、年長になったら咲くお花プロジェクト
- ・武田山登山口での山遊びや散策

## 活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

### 【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

園庭にあるジュンベリーの木。今年も実がたくさん実り、赤くなった実を食べながら収穫していると、子どもたちから「ジャムを作りたい」という声があがり、みんなでジャム作りをすることに。

「ジャムってどうやってつくるの？」という疑問が子どもたちの中から生まれ、「ジュンベリーと水」「ジャムは甘いから砂糖がいるんじゃない？」と、これまでの食の経験から、材料が何が必要かを子どもたち同士、あれこれ対話する姿が見られた。

そこから、具体的な作り方を、お家に帰ってから調べ、それを園で友だちに共有する姿も。

調理のときには、ジュンベリーと砂糖がだんだん煮詰まって、甘い香りもお部屋を包み込み、植物がさまざまな工程を経て変化していくことを、調理を通して実感していた。

ジュンベリーだけではおいしくないと言っていた子も、ジャムにするとおいしいという発見も。

ジャムを作るという共通の目的をもって、それぞれにアイデアや工夫を生み出していく喜びを感じる時間となった。

### 【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

へびへの興味関心が高まっている子を中心に、へびについて調べたり制作を楽しんだりする姿がみられるように。へびの生態を調べる中で、爬虫類への関心も強まってきて、おさんぽで出会ったカエルをお部屋で飼育したり、観察したりと、カエルとへびについて友だちと知識やイメージを共有する姿がみられるように。

他のお部屋のスタッフから、マリーナホップでアマゾン展をしていることを教えてもらい、みんなで園バスに乗って見に行くことに。へびやカエルが好きな環境を知り、それをお部屋で制作したへびやカエルの棲家を遊びの中で再現し、イメージとリアルを行ったり来たりしながら、知識を深めていった。

年長児のお泊まり保育では、夜になるとカエルの鳴き声があるということで、みんなで鳴き声が聞こえてくる田んぼへ確かめに行くという活動を行った。子どもの関心ごとに、保育士も触れることで、子どもたちと一緒に知識を深めていくきっかけともなった。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

『くすの木フェス』という、からだをたっぷり動かす行事の取り組みの中で、幼児の子どもたちから乳児の子どもたちへメダルをプレゼントした。

色とりどりの葉っぱが落ちているこの季節。葉っぱを拾って集める子どもたちの姿から、葉っぱを使ったメダル作りをすることに。

かばくんがだいすきな、0歳児の子どもたちのために、葉っぱをかばくんの口に見立てて、かばくんメダルを作成するお部屋も。

自分たちの身の回りにある自然物を使いながら、誰かを思い手仕事を楽しんだ。

乳児と幼児で一緒にお散歩に出かけたり、お部屋遊びを楽しんだりなど、その後の異年齢交流も生まれた。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

進級に向けて期待が高まっている子どもたち。お花の成長と共に自分たちの成長にも喜びを感じ、仲間と共有できたら、という思いから、年長になったら咲くお花プロジェクトをすることに。

季節のお話から、季節によって咲くお花について子どもたちと対話をし、年長さんになったら咲くお花はどんなものがあるかを話し合った。

春は、桜やチューリップ、夏にはひまわりや紫陽花、秋はどんぐりや紅葉、冬に咲くお花はイメージが沸かなかったのか、雪や雪だるまという声が出てきた。

お家でも年長になったら咲く花について、お家の人と一緒に調べたりお話をしたりして、またそれを持ち寄って子どもミーティングを行い、チューリップを育てることになった。ひとりひとつの球根を園庭に植えて、園庭に出るたびにチューリップの成長と共に、進級への期待を膨らませる子どもたちの姿が見られた。

## 2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

自然物を使った制作・素材についてスタッフ間で研究。

クリスマスオーナメント作りのワークショップ。

- ・ 地域との関わりについて

散歩で出会う地域の方から、野菜をいただき、自分たちや給食で調理していただく。

地域の方から植物をいただき、園庭に植えたり、お部屋の環境のインテリアに。

カブトムシの幼虫をお裾分けしていただき、子どもたちと飼育を楽しむ。

- ・ 保護者との関わりについて

ドキュメンテーションにて、子どもたちの遊びについて保護者様へ発信、共有。

家庭で収穫された野菜をいただき、その野菜でクッキング。

草花の育て方について、ご家庭で子どもたちと一緒に調べたり考えたりする取り組み。

- ・ その他

\*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	<a href="https://www.facebook.com/profile.php?id=100063464681288">https://www.facebook.com/profile.php?id=100063464681288</a>
-------	---